

一般社団法人 栃木県理学療法士会

「運動器認定理学療法士」「地域認定理学療法士」

臨床認定カリキュラム研修会

認定理学療法士を新規取得するにあたって該当領域の「認定理学療法士臨床認定カリキュラム研修会」の受講が必要となります。

栃木県理学療法士会では「運動器認定理学療法士」、「地域認定理学療法士」の2領域についての認定理学療法士臨床認定カリキュラム研修会を開催いたします。

本研修会では、それぞれの領域におけるスペシャリスト勢に講義をお願いしております。理学療法士としてのステップアップ、スキルアップに向けてぜひ参加をご検討ください。

参加を希望される方は、下記のアドレスもしくはQRコードから参加登録をお願いいたします。登録後は、一週間程度で登録メールアドレスへ参加可否をご連絡いたします。

申し込み用アドレス・QRコード

「運動器」を希望される方



<https://forms.gle/GoVZFmLNHZW2ubUS8>

「地域理学療法」を希望される方



<https://forms.gle/J81xsABrxqno6vh97>

【研修会の概要】

参加資格: 日本理学療法士協会登録理学療法士であること。

※申し込みに際しては登録理学療法士証番号の登録が必要です。

研修形式: オンデマンド配信の形式。開講期間内に全20科目(1科目90分)を配信・受講。

※視聴期間内であればご都合のつく時間帯に繰り返し何度でもご視聴頂けます。

※PDF・紙面での資料配布は予定しておりません。

開講時期: 令和6年12月1日～令和7年1月31日(予定)

受講料: 15,000円

募集期間: 令和6年10月1日(火)～11月5日(火)※定員になり次第締め切り

※諸事情により中止となる可能性があることをあらかじめご承知おき下さい。

「運動器領域」

正常な構造・機能と疾病の基礎	石坂 正大(国際医療福祉大学)
医学的診断と治療介入	井川 達也(国際医療福祉大学)
理学療法介入の意義と理学療法士の役割	原 毅(国際医療福祉大学)
疾患によって生じる障害とその評価および予後予測	金子 純一郎(日本保健医療大学)
筋力評価の方法と筋力増強のメカニズム	渡邊 観世子(国際医療福祉大学)
関節可動域制限の要因と治療手技	遠藤 佳章(国際医療福祉大学)
運動器疼痛の評価と理学療法	伊藤 晃洋(国際医療福祉大学)
骨折・外傷後の治癒過程と理学療法	山田 裕司(鹿沼整形外科)
変形性関節症の理学療法	斉藤 嵩(株式会社 Loco Base)
筋・腱・靭帯損傷後の外科的治療と理学療法	蒲澤 寿明(やなざりハビリ・整形外科クリニック)
末梢神経障害の理学療法	向山 弘一(マロニエ医療福祉専門学校)
自立支援や疾病管理の補助具、機器とその活用	宗像 歩(新上三川病院)
発症予防、重症化予防、再発予防	一瀬 裕介(菅間記念病院)
患者・家族教育の意義とその方法	長崎 稔(済生会宇都宮病院)
社会資源の活用	高澤 寛人(菅間記念病院 地域包括総合センター)
運動器画像評価の実際	荒川 達也(リハビリセンター・デイサービス L-studio)
肩関節疾患の機能解剖と理学療法	渡部 健太郎(とちぎメディカルセンターしもつが)
脊椎疾患の機能解剖と理学療法	永藤 祐哉(きむら整形外科・循環器内科クリニック)
膝関節疾患の機能解剖と理学療法	大藤 範之(国際医療福祉大学病院)
姿勢・歩行の評価・分析と理学療法の実際	水上 憲昭(やなざりハビリ・整形外科クリニック)

【地域理学療法】

地域理学療法学概説	沢谷 洋平(国際医療福祉大学)
地域理学療法に関わる制度	細井 直人(だいなりハビリクリニック)
理学療法介入の意義と理学療法士の役割	小林 薫(国際医療福祉大学)
地域理学療法における理学療法評価	大門 友加(マロニ工医療福祉専門学校)
プライマリ・ケアにおける多職種の役割	高橋 秀介(菅間記念病院)
訪問介護員、介護支援専門員の役割	吉田 優(LC 訪問看護リハビリステーション)
訪問サービスにおける理学療法と保険制度	水沼 史明(さつきホームクリニック)
通所サービスにおける理学療法と保険制度	三田 裕一(株式会社 HINATA ひなたあんしんサポートセンター佐野)
施設サービスにおける理学療法と保険制度	吉村 光夫(介護老人保健施設空の舎)
在宅生活の充実と社会参加促進のための生活期理学療法	田波 雅史(訪問看護ステーション孫の手)
終末期における理学療法	佐々木 秀明(西那須野総合在宅ケアセンター)
自立支援や疾病管理の補助具、機器、社会資源の活用	大西 耕平(大田原市中央地域包括支援センター)
発症予防、重症化予防、再発予防	加藤 浩子(菅間記念病院)
患者(利用者)・家族教育の意義とその方法	高橋 一将(日光市民病院)
地域理学療法の将来展望	南雲 光則(自治医科大学附属病院)
家族が行う介助方法の実際	及川 翼(西那須野総合在宅ケアセンター)
歩行補助具の見直しと装具作成の実際	柴 隆広(西那須野総合在宅ケアセンター)
住宅環境調整の実際	布川 才浩(新上三川病院)
在宅で生活するがん患者の実際	杉田 裕汰(西那須野訪問看護ステーション)
在宅で生活する在宅酸素療法患者の実際	野崎 聡子(ほほえみ訪問看護ステーション)

注1 認定理学療法士制度について(新規取得)

認定理学療法士を新規に取得するためには、「指定研修カリキュラムの受講」、「臨床認定カリキュラムの受講」、「日本理学療法学会研修大会の参加」の3つの条件を満たす必要があります。本研修会はそのうちの「臨床認定カリキュラム」となります。詳しくは↓のリンク「認定理学療法士制度について」をご覧ください。

<https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/new/certif-specialized/>

注2 登録理学療法士登録情報の入手方法

日本理学療法士協会マイページにログインし生涯学習管理ページより確認します。確認した登録理学療法士番号を参加フォームにご登録ください。

「登録理学療法士情報の確認方法」

[https://drive.google.com/file/d/10ayoWxJe8RrZ3BMMkQj824WW0r4LwJl2/view?usp=drive link](https://drive.google.com/file/d/10ayoWxJe8RrZ3BMMkQj824WW0r4LwJl2/view?usp=drive_link)

【お問い合わせ先】

栃木県理学療法士会 教育局

☎:0287-62-0733

Email:ninteipt.tochigi@gmail.com

担当:高橋 秀介